

平成27年3月13日 13:30～

瑞浪市役所 全員協議会室

出席委員：橋本委員、楯委員、出村委員、岩垣委員、竹内委員、渡邊委員、永島委員、安達委員

石川委員、遠山委員、山内委員、岡崎委員、稲垣委員、足立委員

欠席委員：酒井委員、各務委員、小倉委員、小栗委員、伊藤委員、北原委員

傍聴人：なし

事務局：伊藤民生部長、正村民生部次長、安部係長、日比野主査

事業計画委託業者：(株)名豊 高山氏

1. あいさつ（会長）

皆さんこんにちは。昨日は、50年振りぐらいに大変な雪が降りました。また、年度末の大変お忙しいなか会議に出席していただきましてありがとうございます。

今回の会議が最後になりますので、委員の皆様から、それぞれの立場で計画書について意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

今日も、事務局の説明が中心になると思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、事務局から説明をお願いします。

2. 議題 子ども・子育て支援事業計画（素案）について

【事務局より資料説明】

事務局：3ページですが、語句に注釈が付いていますが、※が付いているものと※と番号の両方が付いているものがありますが、他のページとのバランスを考えて、※だけにしました。

それから、今回は概要版も作成しております。これは、計画をコンパクトにまとめたものになります。こちらの概要版についても、意見等をお願いしたいと思ひます。

会長：前回からの修正項目と市民の方からの意見等を入れ込みながら計画（素案）や概要版を作成したということですが、みなさんの立場からご意見はいかがですか。

会長：計画策定後の各事業の方向性はどのようになるのですか。

事務局：本日が、計画策定前の最後の会議となります。本日の会議後の素案を最終案として計画を策定していきます。

計画策定後については、計画の目標が達成できるように事業を実施していくと同時に、毎年度、計画の進捗状況について評価・見直しをしていきます。また、新しく保育事業を実施する事業者の方が出てきた場合にも、委員の意見を聞くことになっていきますのでよろしくお願いします。

会長：評価はどのように行うのですか。

事務局：計画で具体的な数値を目標としている場合は、その時点で目標数値に対してどうか、また、未実施の事業について検討するとしている事業については、実施に向けての検討はしているのかといった評価を行うことになると思ひます。

評価していただいた内容については、市のホームページに掲載して広く市民の方にも公表していきます。

委員：ファミリー・サポート・センター事業に「就学児童のみ」と記載がありますが、未就学児童は対象外になるのでしょうか。

事務局：就学児童のみ預かるという意味ではなく、実績と目標数値が「就学児童」を対象としています。誤解されるといけませんので、標記を訂正します。

委員：保育所における一時預かり事業の記載に、「保育所その他の場所で一時的に」とありますが、「その他の場所」とは、ファミリー・サポート・センターのことを差しているのですか。

事務局：ファミリー・サポート・センターは、特定の場所を差しているのではなく、相互援助組織の名称となります。依頼会員・援助会員の自宅や、子育て支援センター等で子どもを預かることが多いです。

委員：私の保育園に、海外に住んでいて、日本に帰国した際に、子どもを一時的に預けたいという方がいました。瑞浪市では公立の幼稚園では一時預かりを実施していませんので、この場合は無理でしょうか。

委員：以前、日本の集団生活の場を経験したいということで、公立幼稚園でも受け入れをさせていただいたことがあります。

委員：公立でも受け入れてくれるのですか。1ヶ月、2ヶ月でも大丈夫ですか。

委員：はい。市外の方を預かる「広域保育」も実施しています。

会長：そういうことを一般の方はどこで知るのですか。

委員：市にお問い合わせいただいた際に、その希望に沿うところを紹介します。

会長：パンフレットやホームページには載っていないのでしょうか。

委員：特殊なケースなので、載っていません。

委員：お知らせしたほうが良いと思います。

事務局：お知らせできるものは、そのような形をとりたいと思います。

委員：32ページの「一時預かり事業」の2行目ですが、「保護者の育児の負担軽減やリフレッシュのため」とありますが、育児に対してリフレッシュという言葉は、育児のイメージをマイナスにする言葉は使わないほうが良いと思います。

委員：ファミリー・サポート・センター事業も同じことですが、子育てを負担とか思っていないですが、たまに子どもと離れて1、2時間でも自分の時間がほしいと思う時もあります。気軽に利用してもらうなら、あっても良いと思います。

委員：この言葉の前段階で、「就労や病気等により家庭において保育を受けることが一時的に困難となる場合」とありますので、リフレッシュは取ったらどうでしょうか。

委員：この計画は、「子どもの最善の利益」というものが根本にあるので、保護者の利益になることよりも、どうしたら子どもに最前の利益となるかという文言を入れるべきだと思います。

委員：ファミリー・サポート・センター事業は気軽に利用する事業だと思います。一方、一時預かり事業は、就労・病気等の時にサポートしてくれるものだと思いますので、リフレッシュという言葉はファミリー・サポート・センター事業の説明で使ったほうが良いと思います。

会長：それでは、「一時預かり事業」の説明文から「保護者の育児の負担軽減やリフレッシュのため」という言葉を削除して、ファミリー・サポート・センター事業の説明文に加えるということをお願いします。

他にはよろしいですか。

委員：計画の「一時預かり事業」の説明の中に、ファミリー・サポート・センター事業について数値を用いて説明してありますが、概要版には、その数値等がありませんが統一したほうが良いのではないのでしょうか。

事務局：計画の説明では、瑞浪市は現在、「保育所における一時預かり」は未実施ですが、ファミリー・サポート・センター事業や、せいわ保育園で行っている一時預かりで補っているという内容ですが、概要版では長い説明文を掲載するスペースがなく、説明文なしで数値を載せることは難しいため、概要版は「未実施」とのみ記載してあります。

会長：他にはよろしいでしょうか。それでは、これで計画（素案）についての審議を終わりたいと思います。それから、今日が最後の会議となりますので、委員の皆さんには一言ずつ感想をいただきたいと思います。

委員：幼稚園の保護者会の代表ということで、会議に参加させていただきましたが、本当にたくさん学びをいただきました。4月からは青年会議所でも子育てについての講演会やワールドカフェなども企画しておりますので、是非、よろしくお願いします。

委員：学童保育の指導員代表として会議に参加させていただきました。良い時期に代表を務めることができ良かったと思っています。学童保育を利用していただくのは良いことだと思いますが、保護者の方が子どもと一緒に過ごせるような支援が本当に必要な子育て支援ではないかとも思っています。本当に必要な方には、安心して子どもを預ける学童となるようにこれからも追求していきたいと考えています。

委員：自分自身が子育てしなければいけない時期は、家内にまかせっきりでしたので、その時には、子育て支援に関する事業は全く無関心で過ごしてきました。この会議に参加させていただいて、本当に勉強になりました。今は、本当にしっかりと次の世代が育つような子育てができればと願っています。

委員：母親の一人として会議に参加させていただきました。それぞれ、専門分野の方々の話を聞くことで、私自身がいろいろな知識を得ることができました。また、今後も子育てをしながらみなさんと計画づくりについて楽しく携われたら良いなと思いますのでよろしくお願いします。

委員：私も、委員の皆さんのいろいろな意見を聞かせていただいて勉強になりました。現在は、認可外保育所を運営しておりますので、子ども・子育て新制度に変わるのをきっかけに小規模保育の認可を申請しようかとも思っています。また、相談をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

委員：2年間、園長を経験して、本当に子育ては大変だと実感しました。今は、園長を若い人に任せて畑をやっております。子どもが畑に来てくれます。今後は、子育てとお年寄りが共生するような施設をつくるのが夢なので、よろしくお願いします。

委員：これまで、何となく私立幼稚園は、このような会議に参加できなかったのですが、今回同じ子育てをする立場として参加させていただき感謝しています。私立幼稚園も新制度に移行するかどうか選択が迫られているところですが、来年度は、現状通りと決めています。今後も移行するのか、現状のままなのか分かりませんが、瑞浪市と相談しながら良い関係でいたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員：前任者の退職により、今年度1年間お話を聞かせていただき、大変勉強になりました。いろいろな話をしながらより良い子育てが実現できることを願っています。

委員：いろいろな子育て支援があるかと思いますが、基本は、「子育ては楽しい」と思っています。様々な子育てサービスが実施される中で、子育てを楽しんでいける場をつくっていききたいと思います。市民のみなさんに、いろいろな子育て支援サービスがあることを周知して豊かな瑞浪市をつくっていききたいと思っています。

委員：公募委員として会議に参加させていただきました。今まであまり何も考えずに子育て支援センターや学校、幼稚園に通わせていたなと思いました。会議に参加することで、利用したことがないサービスも利用してみようかと思いました。現在は、児童館でベビーマッサー

ジの講師をやらさせていただいているので、お母さんの悩みの相談に乗って、若いお母さんも育てていけるようにがんばりたいと思います。

委員：子育てサービスを利用させていただいている中で、いろいろな思いがあり、会議に参加させていただきました。本当に母親は孤独になりがちなので、子育てについていろいろな話が出る場が広がると良いと思います。瑞浪市で児童虐待等が1件も起こらないような楽しい子育てに繋がる計画になれば良いと思います。

委員：公募で参加させていただきましたが、保育士の立場と、これから母親になりたいという立場で会議に参加させていただきました。会議の中では、ただ勉強させてもらうばかりで意見や発言が出来ませんでした。素案をつくる中で、知らないことが多くあり、疑問に思ったことを保育士の仲間と話したり、みんなで勉強する機会にもなりました。住みやすい瑞浪市を私たちがつくっていかねばいけないと思っていますので、これからもよろしく願います。

副会長：1年間ありがとうございました。瑞浪市が子どものために、今何ができるのか、何をしなければいけないのかということ真剣に考えてくださっていることが、この会議に参加させていただいて一番感謝していることです。これらの支援サービスを利用する方々が、本当に市がこんなに一生懸命考えて作ったものなので、本当に支援が必要な方に利用してもらえるようになればと思います。

会長：最後の会議となりましたが、皆さん、ありがとうございました。私が子育てをしている時は、今のような制度やサービスもなく、育児休暇もなく、家内はとても苦労したと思います。今の時代は、昔に比べれば、子育て支援については恵まれてきています。

反面、最近、子どもを守るばかりで子どもの主体的な力を伸ばすことについてはどうかと思っています。非行にはしてしまう子は、幼児期の育ち方、中学生ぐらいの思春期の精神状態にとっても影響を受けています。そういう子は、自分の生き方を見つめていないということと、自分で判断する力が弱いことが多いです。健全に、強い力をもった子どもを育てるということをいろいろな立場の方が連携して進めることが大切だと思います。

計画の素案が完成しましたので、この計画を活かしていくことは私たちの責任だと思います。皆さんも、それぞれの立場で、瑞浪市の子育て支援により、楽しい子育てができるように協力をお願いしたいと思います。

事務局：委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいなか、また真剣にご審議いただきましてありがとうございました。本日とりまとめいただきました「瑞浪市子ども・子育て支援事業計画」につきましては、今後5年間にわたって瑞浪市の子ども・子育てに関する施策の基本的な計画となるものです。市としても、この計画に基づきまして、市民の皆さんが安心して子どもを産み育てられるように、関係者の皆さんのご協力をいただきながら、しっかり運営に努めてまいりたいと考えています。

この計画をつくるのが、この会議の目的ではなく、この計画に基づいていろいろな施策を進めてまいりますので、その施策の評価についても、この会議のなかで協議をしていただきながら、更なる子育て支援を充実させていくという形で進めさせていただきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いします。本当に長い間、ありがとうございました。